夕刊
京城日報
一ケ月金壹圓貳拾錢　一部金五錢
發行兼編輯人　印刷人
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所　合資會社　京城日報社

開封の陷落迫る

敵皇軍猛攻の前に慴伏

鎧袖一觸の運命に立つ

【亳縣四日同盟】徐州の陥落に後退した支那軍は隴海線開封、鄭州の線を第二の徐州たらしめんと蔣介石直系の將領胡宗南が廿萬の大軍で死守せんと氣勢をあげてゐたが、徐州敗戰は全く彼等の意氣を喪失せしめ加ふるに我が各部隊の破竹の勢ひをもつて隴海線を西進する前にはこれを防ぎ得べくもなく秋風落葉の支那軍に、陷落後僅か半月ならずして開封、鄭州放棄の已むなき運命に立ち至つた、即ち四日午前我が西進部隊が開封方面の線を進めるに先立ち早くも敵の主力は退却を開始し、開封の陷落は今明日中に迫つた、續く鄭州も到底我軍の猛攻に備ふるの意氣なく既に一部は京漢線によつて南方に退却の氣配を示し、これ亦皇軍の猛攻の前に鎧袖一觸の運命に迫られてゐるものがある、胡宗南總司令はその退却を前に開封、鄭州は日本軍を防ぐに不利であるから更に一層奥地に日本軍を誘ひ込み一擧にこれと決戰せんと強がりを言つてゐると傳へられてゐるが、蔣介石の没落の大勢は最早喰ひ止める術なきに至つてゐる、かく短時間に隴海線を完全に制し得たる皇軍の進擊は世界の戰史に比類なきものである

早くも城外に肉薄

城壁に猛擊を浴びす

【北京五日同盟】二日午前十時進擊を開始した○○部隊は隴海線沿ひに開封目がけて潮の如く殺到頑強なる敵の抵抗を排除して四日夕刻にはその先頭部隊は早くも開封城外に迫り城壁目がけて猛烈な十字砲火を浴せつゝあり、又三日杞縣を完全に占領した○○部隊は鋭くべく機動力を發揮して四日には開封南方の軍事上極めて重要なる地點を占據、更に進擊中である、開封には何相當の敵兵が頑強に我に抵抗を試みてゐるが既に包圍殲滅の網に陷つた敵は士氣全く振はず一部は既に西方に向け潰走してゐるので完全占領も近く實現するものと觀られてゐる、○○部隊の殲滅振りは鬼神をも泣かしめるものがある

敵は全く烏合の衆

一堪りもなく潰滅せん

徐州大會戰の二の舞ひか

【石家莊五日同盟】開封の敵は東正面隴海線上よりの新鋭○○部隊の攻擊を受け西南方○○部隊の奇襲作戰に全く虚をつかれ大動搖を來してゐる、無謀百萬に垂んとしてゐる敵の大軍は指揮、命令全く徹底せず、ために各部隊各行動をとり一部は早くも鄭州方面に遁走し全軍に一貫せる方針なきためバラ〱の態で全く烏合の衆に等しく我が總部下に一堪りもなく潰滅徐州會戰の二の舞を演ずるものと見られ、開封陷落はこゝ數日を出でぬものと見られる

開封東方十六キロ相街を占領

【碭縣五日同盟】隴海線を開封に突進する○○部隊主力は四日午後七時早くも開封の東方十六キロの相街を占領、敵は總崩れとなつて開封に向つて敗退しつゝある、これがため開封一帶は同地守備軍と前線より敗退する兵で混亂し全く統制を失はれた模樣である、我が軍は引續き追擊し開封陷落も刻々に迫りつゝあり

杞縣占領で敵の損害約三千

【北京五日同盟】隴海線南側の敵を急追して我が○○部隊は三日開封東南の要衝杞縣を占領したが同地には凡そ二萬の敵大軍が堅固な既設陣地により抵抗し我が軍は杞縣を中心として東方より敵の背面を衝いて攻擊大打擊を與へ遂にこれを占領したものである、五日までに判明せるところによれば、敵の遺棄死體は凡そ三千、鹵獲品は對戰車砲一、チェッコ機關銃十五小銃二百五十、彈藥は無數である

敵の遺棄せるトラック鹵獲

【碭縣四日同盟】○○部隊の○○隊は三日鹿邑の西方八キロの地點において敵の遺棄せるトラック二台を鹵獲した、この自動車の中には輕機械、首腦部用器物が滿載されてあり、他に新八軍第百四十三師長陸軍中將李曾志と印した軍服が脱ぎ捨てゝあつた、我が○○部隊の猛擊に鹿邑放棄の際李師長等はあわてふためいて軍服を捨て、百姓姿に身を窶して逃れたものとみられる

共産黨首腦

國民黨に復籍

【香港四日同盟】重慶來電によれば中央監察委員會は、四日午前八時開會、陳獨秀、周恩來、毛澤東、葉劍英、郭沫若、陳友仁等二十六名の黨籍復歸を決定した

亳縣に治安維持會成立

【亳縣五日同盟】亳縣の住民は我が部隊占領當時僅か四千人が殘つてゐたが、皇軍入城と共にどしどし復歸し三日には治安維持會が誕生した

市民に避難布告を發す

實は政府の漢口逃出下準備

【上海五日同盟】漢口來電によれば國民政府當局は漢口の防備いよ〱危殆に瀕せりと觀て今後三週間以内に二十萬の市民に各郷里又は僻鄙の地に避難すべき旨布告を發し、既に續々避難を行ひつゝある、右の理由として廣東及鄭州同樣日本軍の爆擊による市民の被害を避けしむると稱してゐるが、事實は政府の漢口逃出の下準備と見られ市中には諸言盛んに行はれ、大動搖を來してゐるといはれる

國府愈よ漢口脫出か

【ニューヨーク四日同盟】日本軍の猛攻の前に漢口市内は混亂の極に達してゐるが四日ニューヨークに達した漢口U・P電によれば、國民政府高官は四日U・P記者に次の如く語つた
國民政府當局は開封を中心とした西部隴海線における戰況がいよ〱支那軍に不利に展開するとゝもに早くも漢口脫出を決意したものゝ如く、國民政府は廣東、鄭州に對する日本軍大爆擊の修禍が更に漢口に繰返されるのを避けるため今後三週間以内に二十萬の市民を市内より避難させることになつた、避難民は數班に分け先づ婦女子、傷病兵は政府の命令頭も疑惑として避難し始めてゐる、日本軍が蘭封、開封方面の進擊に成功してゐるのは非常に鄭州附近の支那軍に重大脅威を與へつゝある

逃亡兵續出

督戰組織を强化

【香港五日同盟】打續く敗戰に士氣全く沮喪した支那軍は逃亡者相次ぎ支那軍當局は督戰組織の整備に狂奔してゐるが、最近軍事委員會は左の如き逃亡兵取締便法を制定しこれを各省政府及び地方軍事機關に通達しその勵行を嚴命した
一、省市縣當局は黨部及び行政軍事機關は逃亡兵取締のため協同して演糾隊を組織して交通の要衝に配備し嚴重なる取締を勵行し土地に應じ又必要に應じ戸口調査をなし得る
一、現役軍人の郷里に歸還するものは所屬部隊の證明書を要す、これを保甲長に提出せしむべし
一、前記各機關にして取締を怠りたる時は嚴罰に處分す

維新政府も駐日辨事處新設

【東京電話】中華民國維新政府では居留民保護事務の圓滑を期するため、さきに臨時政府駐日辨事處の先例に倣ひ近く維新政府駐日辨事處を設置することとなつたが、時、維新兩政府の合流が時期の問題たるに鑑み臨時政府駐日辨事處は本國政府の合流に先行して新設すると同時に合流することに決定、現在の臨時政府の中華民國臨時政府駐日辨事處は、中國臨時維新兩政府駐日辨事處の看板を揚げることになつた、しかして辨事處長は現處長孫湜氏が兼任するはずである

東條次官大連發

【大連四日同盟】陸軍次官に榮轉の前關東軍參謀長東條英機中將は四日大連出帆の熱田丸で家族同伴歸國の途についた

分裂の危機を孕む

鳩山か中島か

今の所形勢は互角

政友會總裁決戰劇

【東京電話】政友會總裁問題は、もみ拔いた揚句、四日の第五次幹事會を以て
一、黨則第二條二項による總裁選舉の為大會を召集すること
一、その實行方法は本部諸機關に諮り決定すること
といふ二つの結論を以て打切りとなつたが、黨則第二條は「總裁は總會に於てこれを選擧し、その任期を七年とす」といふのであるから、代行委員會の決定は公選により總裁を決しようといふに歸着した譯で當初委員會で島田氏が中島氏を推擧しようとする經過から見ると結論でない結論であつて、内容から見ると公選論一本山で突つ張り通した鳩山氏の勝利といふことになつた譯である、一日の第二總裁の切札を切つて出足鋭く寄つて出た時、この鳩山氏を危く廻り込んだ鳩山氏は三稜亭を出た足で早速右腕と頼む松野鶴平氏を訪れた、松野氏は土俵際のしぶとさを三嘆し「鳩山といふ男は總裁にしか役に立たん男だ」と惚れ〱と眺めると共にこの男を窮境に追込んだのが島田氏と知つて「島田と俺の間柄で事前に一言話さぬ法がない」と痛憤し重い神輿をあげたので、鳩山陣營はさつと立直り總裁公選の強硬意向はこの時確定的になつた、明くる二日朝生色ある鳩山氏は中島氏を訪問して君となれば氣持よく戰へる年來の友誼から考へると遺憾だが君が反鳩山派として黨の總裁となり町田君と三人で國政を論ずることも愉快だと眞正面から挑戰狀を叩きつけたものでそれ以後代行委員會は中島氏を擁立するプランとして島田氏は決戰前の一夜の預り自派の結束、地方支部の獲得に狂奔してゐる、愛黨問答は事態の展開を憂ふる外交辭令程度の騒擾しかもち得なかつたの も當然である、代行委員會は三日の第四次會合で完全にデクトロックに乗上げた鳩山派は、現幹事長砂田重政氏を獲得して「代行委員會を切りあげ早く黨の執行機關に移せ」と云ふ横槍を入れさせた、この切札が最後に物を云つたのである、島田氏は決戰前の一夜の預り
一、中島氏推薦
一、第三者（黨長老）推擧
一、代行委員制現狀維持
等手をかへ品をかへ鳩山氏のただめにかゝりその鬪志を殺ぐことにかゝつた「總裁を捲くのは黨の統制を確立させるためである、總裁を設置するために却つて黨の

紛糾を招くやうではその本義に背き又愛黨精神から言つても忍び難い處である」と云ふのがその所論である鳩山氏は「總裁は公選で選ぶのが一番よい、勝敗の意思もそこにあるのだ」と公選一本槍で應戰これ努めた、愛黨問答が代行委員會で花を咲かせてゐる時兩派の大小軍は左往

長老では水が入らなかつたのは當然である、何時まで經つても限りがないと云ふので遂に公選決定となつたものである、さて公選となると果して投票を認めるかどうか、これが第一の問題だが決戰前には時局の重圧も身に沁みて來よう、決戰になるまでには相當手間どらうがしかし競ひ立つて早慶戰そこのけの騒ぎで兩派とも自派の必勝を期してゐるが第三者は鳩山四五パーセント、中島五五パーセントと判斷を下してゐる尤もさて決戰となるまでは日數もあるが今の所形勢互角と見てよい只これを撒とし、分裂の恐れが充分にある、「勝んだ腫物がつぶれるのを眺める」と片付ければそれまでだが兎角思はせ振りだ（寫眞は上より鳩山氏、中島氏）

ならず結局長老に水を入れて貰ふことになつた、今日の長老はかつて床次、鈴木が相爭つて時の長老岡崎邦輔氏が水を入れたやうな威徳がなく四代行委員に止めず代行委員を殖して七、八名位にしてやつて行かうと云ふ案だけである、自分が總裁になりたい出來れば代行委員にでも坐り込みたいと云ふ

赤外線

新任の三相はまだ大臣の風習が板につかぬと見え世一日の閣議は塚田總田、宇垣外相など造詣官が書類を持つて「外務大臣」と廊下で呼んでも一向振向ふともせず、前に廻つて「外務大臣！」とやつと「外務大臣」とやられてやつと「あ、さうだつたか」と云つた調子、ふるつてゐるのは荒木文相で同閣議の席上書類に署名する時うつかり陸軍大臣の下に署名してしまひ木戸厚生相に注意されてやつと氣がついて文部大臣の下に署名のしなほしで一同大笑ひ（寫眞は宇垣外相と荒木文相）

國防外交財政の綜合發展に邁進

池田藏相重大決意で對處

【東京電話】徐州陷落による事變の進展に伴ひ我が戰時財政體制は皇軍の武力行使による蔣政權絕滅工作と相俟つて茲に愈々長期戰に對處すべき基礎を强化するの必要に迫られてゐるが、政府は内閣改造によつて戰時内閣として陣容を名實ともに確立したるを以て、この機會に於て近く五相會議を開催、對支政策の遂行國力の充實、外交の刷新に向つて堂々その歩武を進めることとなつた、殊に池田藏相の如きは就任早々聲明したるが如く戰爭遂行の目的達成のためには如何なる犧牲をも覺悟せねばならぬとの固き決意の下に財政經濟政策の全機能發揮による國力の飛躍的發展をはかり、以て戰局を速かに決定的勝利に導くべく五相會議に於てもその所信を披瀝し國防、外交、財政三者の綜合發展を强調するものと見られる、しかしてこれがためには國内資源、國防軍需資材の輸入などについても最近に於ける事變の發展に對處して改めて再檢討する必要があり、これ等の點に關しては今後五相會議と併行して大藏、商工、企畫院などに對し速かに具體案を作成せしむべく調査を命ずることになつた（寫眞は池田藏相）

秩父宮同妃兩殿下

宮中に御參内

大宮御所にも御挨拶

【東京電話】御殿下の支那各地を御巡視一ヶ月振りに四日御歸京あらせられた秩父宮殿下には五日日曜日にも拘らせられず御通常禮裝の御姿も凛々しく、妃殿下御同伴山口御所武官、山崎御用取扱を隨へさせられ、午前十時表町御殿御發、宮中に御參内あらせられ、大奥にて天皇、皇后兩陛下に御對面、御歸還の御挨拶を遊ばされ各戰線の狀況忠勇なる將兵の奮闘勞苦等を御物語りあらせられ、陛下には親しく殿下を犒はせられたと洩れ承る、兩殿下には一先づ御歸殿の上午後二時半大宮御所に御伺候、皇太后陛下と御對面御歸還の御挨拶ののち種々御物語りあらせられたと承る

黨大會は二十日

五日の總務會で決定

【東京電話】政友會の總裁決定に關する總務會は五日午前十時より芝三縁亭に開かれ、鳩山、中島、島田の四代行委員並に全總務出席劈頭島田代行委員より總裁決定問題に對する四代行委員會の經過を詳細に報告後、討議の結果
一、黨則改正の件
一、黨則第二條第二項の規定する總裁の任期を現行七年とあるを四年と改めること
一、總裁公選に關する黨大會開催の件「總裁公選の黨大會は來る六月二十日午後二時より政友會本部に於て開催する」
以上の三件を決定、正午總務會を閉ち一同午餐を共にして正午散會何午後二時より幹部會を開き總務會の結果を報告承認を求むることになつたが、黨則改正は黨の規約に準據して來る二十日の黨大會に附議正式決定のはず

日曜日氣配（六月五日）

△期米双方成行模様眺めなれど底意手堅し
氣配不變
△株式氣迷裡に何れも採出振興期待に押目買物潜み底堅し
大新八、〇〇　東新一四八、五〇　鐘紡〇〇、九〇　滿重七、〇七〇

人

◇江川恒雄少將（關東軍陸軍倉庫本部）四日夕入城朝鮮ホテル
◇平井彦三郎氏（大審院檢事）五日入城半島ホテル
◇横山公雄氏（朝鮮拓殖專務）五日朝入城不知火
◇倉田敬三氏（大日本紡常務）四日午後入城旭館
◇細井新之介氏（辯護士）五日朝入城半島ホテル

天地玄黄

漢口政府の移轉ぼつ〱始まる
×
要人連頻々甚明に避難とある。命あつての物だねといふところ
×
廣東空襲に怯え、市内大混亂
×
豈獨り廣東のみならむや。全支の人心動搖日に〱募る
×
蔣末魔のあがきとは即ちこれ。暴戻支那は亡び明朗支那蘇るの日遠からず
×
政友會總裁公選で決定とある。その結果敗けた方が分裂するのでは公選の意義をなさず。心すべきこと

紅輪曼荼羅第四面

紅繪曼荼羅 (45)

海音寺潮五郎作　富永謙太郎繪

大河端（八）

相手の蹈が謎いたと見て、風齋の快辯は一層の熱を加へた。

『わしは、先づ、蒙士を以て黄金たらしめ、砂子をして燦爛たる寶石たらしめる佛の廣大無邊の智惠魔訶不可思議力、大慈悲心、それをそちに知つて貰はうと思つて、あそこへ連れて行つたのだ。そちが不平に思ふであらうこと、不快に思ふであらうことを豫へないではなかつたが、少しの説明を待たずして自ら透明する所あらしめようとわしは豫へたのだつた』

『詭辯、恐ろしい詭辯……』

青年は縛られた獸がもがくやうに身悶えしてうたつたが、風齋はかまはずつゞける。

『詭辯でない。本當のわしの心を仰つしやるのです。いゝえ、もう聞きません。あなたの教へてやらうと仰つしやるのは、きつと新しい詐術に相違ありません。行つて下さいまし、行つて下さいまし。わたくし、もう先生の顔を見るのも厭です……』

『いや、違ふ。眞實の安心、眞實の不動心、それを與へるのだ。わしの教へによつて、そちは、これから決して迷ふことなく、疑ふことなく、人身を具足して生活したがら、神仙の平安な心境と、佛陀の涅槃境に、眞實の自洋自足の境地に達することが出來るのだ。今夜、わしの家に來るがよい。をしむところなく、わしはそちの行くべき道をさし示してやらう。そちが、眞實、道を求めるならば、來るであらうな、來るであらうぞ。來るであらうな』

滔々たる雄辯の渦に卷きこまれて、昂激し、昏迷し、楠石はつひにこくりとうなづいてしまつた。

風齋は、春日家を立去つて、眞夜の町を悠々と馬を打たせてゐたが、ひどく思案に暮れた顔をしてゐた。そして、時々、舌打と共につぶやいてゐた。

『しまつた、しまつた、少し功を急ぎ過ぎたらしい。もう少し待つのだつた』

打ち開けてゐるのだ。それを詭辯と解するてちの心はわしには恐ろしい。どうか、心を虚しくして聞いてくれ。心を虚しくして聞いてくれるたら、きつと解つてくれるはずだ。――大丈夫たる者か、自分一個の救ひのためのみにあくせくとしてゐるといふことがあるか。大丈夫たる者はおのれを救ふと同時に一切衆生をも併せて救はねばならぬ。そのための大覺悟がなければならぬ。そのためには、あゝした祕道も十分にわきまへて置く必要があるのだ。わしは、そちこそ、わしの後繼者として、一世を指導し得る大導師となり得る素質のある者、任にたへる者と思つたればこそ、あゝいふことも一通り學ばせて置きたかつたのだ。そちの高き智、深き識燃ゆる火にも似た熾烈の求道心、端初より消えぬ雪山の雪よりも白潔々の心事わしは高いのぞみをそちにつないでゐたのだ。恐れるな、尻りごみするな。今こそ、わしはそちに眞實の門を開いてやらう、そちの手を取つて、その門を入らう』

この大學者の蛮のやうな師説は春の微風のやうに青年の心に媚びた。青年は覺えず微笑を漏らしたが、すぐ、また恐ろしげに叱つた

『な、な、なにを教へてやらうといふがよい。さうせぬかぎり、そちは永劫に救ひを得ることは出來ぬ

趣味講演　濟州島を語る

【後六・二五】　今村鞆

濟州島は朝鮮の最南端に位し、面積百二十方里戸數四八一〇〇人口一九六七〇〇を有する、四時の氣候温暖にして南國情緒の豐かなる日本最大の島嶼なり。地形は東西は稍楕圓形にして中央に一九五〇米の漢拏山あり、四方に緩傾斜をなし此山を總つて海岸までに四百有餘の小噴火山あり。開闢神話としては太古荒漠未だ人無きの時、高良夫の三神人土中より湧出す。某る日東海岸に船の漂着するあり、之に日本國王の使あり王の三女を載せ來り之を三神人に配し且又共に牛を齎し來り駒及五穀の種を與へ國を開けりとあり

大昔に九州邊の酋長との關係を暗示する如し、歷史としては元一小王國なりしが百濟に附屬し後新羅に征服せられ之に屬し爾來陸地朝鮮に屬す一時高麗末蒙古の直轄地となる。併合後島制を布き今日に及べり

住民の職業は農漁業と船乘業あり其性質は陸地朝鮮人と趣を異にし進取心獨立心に富み、一方慓悍なる點あり古來より民亂を起せしこと甚だ多し顔色内地人に近く風習亦陸地朝鮮と異なる

家屋の構造女の運針背に擔事機を用ひず、女は頭に物を載せず、家族同食すること等内地に近し。北島の特殊貿易としては海女約一萬人島内外に活動しアハビサザエ海藻を採る、風強きが故に耕地一筆毎に石垣を繞らし之を延長して算すれば九千里に及ぶ、牛馬多くして放牧せるあり其使役に巧なること等なり。動物としては海に魚族多く陸には大蠑…八色ツグ…鶯老同穴等々珍らしきものあり。植物として高山植物より熱帶植物まで種類甚だ多く將來發見さるべきものなは多かるべし

此島は動物學者、植物學者、火山學者及企業家の一度は巡遊すべき價値十分なるものなり

二人漫談　仲裁御無用

【後九時】　板本武　飯田蝶子

大工の辛さんは寄合があつて、晩く歸つてくる、話題を内職にしてゐるお内儀さんは少しくお冠りでサンマータイムなどを持出してお前さんは働きがないといろ〳〵説教をする

『うるさいのが嫌ならもつと仕事に精出して下さいよ、あたしは愁精ひを廢業しますよ』

『よオし表にぶら下つてるおぐしあげつて稼機はおれがひつぱがしてやらあ』

と辛さんも中腹で、まさに家庭職觸危機一髪となる、トタンに長屋のお隣りさんで一足お先にガチャンガラ〳〵と夫婦喧嘩が始まる、御兩人もよつと氣をぬかれた態であつさり和平交渉成立そしてしばしはえましき風景を展開し森となる

午後八時　ミユージカルドラマ　故郷の人々

（懸賞放送文藝入選作）
（山本紫朗作内田元作曲）
＝オルゴールに依る幻想＝
御橋公外

大阪中央放送局新廳舍落成記念に募集した放送文藝入選作の一つで昨年五月二十日故友田恭助氏外によつて發表したが今夜は更に檢討を重ねて再演の輝きを見せやうといふのである。書齋の掛時計が十二時を報ずるとマントルピースの上にある古いオルゴールが「オールドフオークスアットホーム」を奏す。夢の中に響くやうなその音の流れは書齋の主をやがて幻想の世界へと導きはじめる。そこに作曲者ステフエン・フオスターと彼を廻る數々の出來事が次から次へと音樂にのり歌につれて繰り擴げられてゆく

一、フオスターの事務所
二、黑人達のキャンプ
三、溪流のほとり
四、ケンタツキーの家
五、心の丘
六、自由の叫び
七、停車場
八、フオスターの宅住居
九、教會内の傷病兵收容所

最後に教會のオルガンが「オールドフオークス・アットホーム」を奏するとその旋律が再びオルゴールに移入され、現實の世界へ書齋の主を連れ戻す、その時掛時計が五時を知らせるのである

婦人の時間【前十時廿分】　家庭用陶磁器の見分け方

京城高等工業學校教授　小山一徳

台所用のコンロや火鉢、食事用の茶碗、皿、スープ皿、肉皿等お座敷用の花瓶、水差、香爐、煎茶器等家庭用陶磁器の種類は隨分多いのでありますが、これ等の見分け方についていろ〳〵お話して見たいと思ひます

又見分け方と共に從來どういふものが習慣上いゝとされてゐるか、又歷史的に觀察するとどういふ風にその好みが變りつゝあるか、又我々は審美的及び經濟的見地からどういふ風にこれを導いて行くべきかに就て愚見を述べて見たいと思ひます

ラヂオ　六月　日

第一放送

朝の部

午前六・〇〇（東）ラヂオ體操
六・二五　ニュース
六・三〇（東）支那語講座
七・〇〇（東）時報
七・〇一（東）朝の修養　國民精神總動員運動に關して　國民精神總動員と農村更生
七・二〇（東）朝の音樂　磯見保太郎
七・五五（東）小學生の時間「全鮮・朝鮮調話」（レコード）
愛國婦人會々長　本野久子
一〇・〇〇（東）家庭メモ　料理獻立（あさりのフライと味噌汁京城釜山）
同（キムジヤバン平壤）
同（牛乳四寶潮津）
日用品値段
一〇・二〇（城）婦人の時間　家庭用陶磁器の見分け方
京城高等工業學校教授　小山一徳
一一・〇〇（大）小學生の時間

晝の部

□『第二』對話劇「ヤマビコ」　羽鳥精夫外
正午（東）時報（東）箏曲
一、白の聲　箏　上原眞佐喜
同　長井眞琴惠
三絃　酒井眞佐治
二、落花の響
箏　上原眞佐喜
同　堀田佐惠壽
三絃　岩田眞佐壽
午後〇・三〇　ニュース　鮮眞卸値段
一・一五（城）趣味講演三題（朝鮮語・釜山）山水と傳説
二・〇〇（東）小學生の時間「暑四」朗讀とお話〃錦の御旗〃
お話　鶴見祐次郎
朗讀　東京市四谷第一尋常小學校兒童
二・四〇（東）ラヂオ體操
三・〇〇（東）家庭講座
三・二〇（東）敎師の時間國史敎育講座（一）國史敎育の理念
文學博士　中村孝也

夜の部

四・〇〇　ニュース・職業紹介
六・〇〇（東）不思議問答（テキスト三二ページ）子供のテキスト編輯部
六・二〇（東）コドモの新聞
六・二五（城）趣味講演　朝鮮の島（一）濟州島を語る　今村鞆
六・二五（東）講演（清津）生活形態の今昔　藤澤衛彦
六・五五（東）カレントトピツクス
七・〇〇　ニュース
七・三〇（東）國民歌謠〃音鐵道唱歌〃
一、東北本線（上野－仙臺）
二、信越線（高崎－直江津）
合唱　鐵道省混聲合唱團
伴奏　東京放送管絃樂團
七・四〇（東）講演　支那の關稅改正に就て
大藏政務次官　經濟學博士　太田正孝
八・〇〇（大）ミユージカルドラマ「懸賞放送文藝入選作」故郷の人々（オルゴールに依る幻想）
―配役―
ステイフン・フオスター　御橋公
モリソン（弟）　安田利一
スザンナ　木下ゆづ子
ジヨー（スザンナの父）　志村喬
トム（黑人の若者）　大澤健司
ジヨージマクドナル（ステフンの叔父）　高橋富二
アンナ（ジヨージの娘）　林喜美子
外黑人等大勢
合唱　大阪放送合唱團
管絃樂　大阪ラヂオオーケストラ
指揮　内田元
演出　司〇BK文藝課
八・四〇（東）新内
新曲　蒙古襲來（石童丸高野山の段）
淨瑠璃　富士松武藏太夫
同　富士松若太夫
同　富士松綾太夫
三味線　富士松龜三郎
上調子　富士松龜藏
九・〇〇（東）二人漫談〃仲裁御無用〃　坂本武　飯田蝶子
九・三〇（東）時報・ニュース・ニュース解説　明日の番組　地方へのニュース・翌日の府・銃後美談

第二放送

正午　レコード
午後一・一五　趣味講演三題　文一平
六・三〇　お話　鄭寅燮
七・〇〇　週間情報
八・〇〇　大衆講座　安命煥
八・三〇　獨唱　河大應
八・五五　野談　崔汝星
一〇・一〇　國語講座（二六）　宋今璇

あすのきもの　七日（火）

午前一一・〇〇（東）幼兒の時間よい音樂〃童謠おもちや箱〃
編曲並指揮　大塚楠男
演奏並伴奏　京放送管絃樂團
齊唱　青山兒童唱歌隊
唱歌指導　吉田照子十方
午後四・三〇　野球試合實況（決勝戰ある場合）－（京城・平壤第二裝置）京城實業野球リーグ（一鐵道－遞信）決勝戰－京城球場より中繼－（雨天順延）
六・〇〇（城）職業童話〃石を抱く兵士〃　樋口紅陽
六・〇〇（東）合唱と獨唱（清津）JOAK唱歌隊
指揮　吉原規
七・三〇（城）ラヂオ常識（二）ラヂオを聽く手續に就て
朝鮮放送協會總務部長　田村光太郎
七・四〇（天津より）講演　微山湖の渡渉に就て　陸軍步兵中佐　天本良三
八・〇〇（東）管絃樂　日本放送交響樂團
指揮　小船幸次郎
八・三〇（大、仙）河鹿を聽く（大阪）－六甲山瀧武庫川畔より中繼－（仙臺）－仙台廣瀨川より中繼－一局不能の場合は他の一局にて全時間擔當
◎備考　兩局不能の場合は左記△印演藝を送出
△八・三〇（大）落語　桂春團治
八・五〇（浪）浪花節二夜（第一夜）〃出世高虎〃　梅中軒鶯童

大阪商船艀出帆

◎内鮮優秀連絡船
北鮮門司阪神行
吉州・清津・門司（正午後）＝＝（經清津前日發翌々日正午）
洛東丸　六月十五日
大同丸　六月六日
北鮮發濟州行
河南丸　六月十日頃
清津、雄基、城津、明川　濟州　盛
博多、長崎、鹿兒島、基隆
高雄行
天連内地直行　日滿連絡每日發
朝鮮、滿鐵主要驛ニ於テ船車連切符發賣
大連發＝＝午前十一時門司着、早朝神戸見港
　　　　　　大連　門司　神戸
吉林丸　六月七日　九日　十日
ばいかる丸　六月十一日　十三日　十四日
鴨綠丸　六月十四日　十六日　十七日
うらる丸　六月十二日　十四日　十五日
うすりい丸　六月十九日　二十一日　二十二日
扶桑丸　六月十六日　十八日　十九日
門司基隆直行　内臺連絡每五日目發
高砂丸　六月十一日
蓬萊丸　六月六日
高千穗丸　六月四日
（注意毎日午後二時入港大型船便多數あり）
門司上り神戸行
（案内書進呈）
京城府大門通二丁目二三
大阪商船株式會社　京城支店
電話本局長一〇三二〇
鮮内代理店・案内所
清津・羅津・雄基　國際運輸會社
仁川　慶田組
釜山　釜山商船組
ジヤパンツーリストビユーロー案内所　京城三越・三中井

大阪商船出帆

阪神行
六月三日　神津丸
六月十一日　國津丸
名古屋、京濱行
六月五日　信洋丸
六月廿一日　江蘇丸
六月廿四日　浙江丸
鎭南浦、安東行
六月十四日　江蘇丸
内地各地行後繼通シ貨物取扱致候
大阪商船株式會社仁川代理店
株式會社　慶田組
電話　四二二番・七二〇番・二二八番　一一一番・九八四番
（出荷入貨・現宿道）

内鮮運輸船出帆

泰寧丸
神命丸
第一壽丸
各船共揚合ニ依リ關門瀨戸内海寄港仕ル可候
仁川府港町四丁目十番地
大和組回漕部
電話　七一〇・一二〇・二五〇・七七七番